

# プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人ハンディキャブゆづり葉

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

おでかけ・くらしサポートセンター多摩(さぼたま)

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ゆづり葉の移動サービス 17年の経験と、近年国や地方自治体より受託した、主に「生活支援」や「地域支援」のモデル事業を通して、地域の福祉事業者間の連携、移動サービスに対する質の向上や地域の人材の育成を図るために「さぼたま」の計画・実施を進めてきましたが、次のステップとして実際に必要としている人々のために「相談・情報紹介事業」と「研修事業」を進めるべくこのプロジェクトを始めました。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ・「さぼたま」の利用者向けパンフを平成25年3月初めの正式オープンに向けて作成し、今年度はそれを市の施設や各福祉事業所への配布を始めました。
- ・ゆづり葉の17年間のデータを基にして、ゆづり葉の地域支援活動の経過報告書「地域支援活動のあゆみ」を作成しました。
- ・「さぼたま」は、多摩市とその周辺の福祉関連施設・団体と連携して情報の交換・共有を図っていますが、上記の「あゆみ」を活用して、その協力団体数を増やすべく努力しています。
- ・月1回のペースで開催していた「おでかけサロン・食事会」を9月より月2回に増やしました。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ・地域包括支援センターなどに「食事会」の視察参加を依頼したり、食事会の回数を月2回に増やしたり、また、利用者向けパンフを配布することによって、「さぼたま」の存在を知っていただく努力をしています。
- ・「あゆみ」を作成して閲覧してもらうことによって、福祉関連団体やゆづり葉会員に、地域支援活動を理解してもらい、ネットワークへの参加団体を増やしています。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

・平成24年度までに「さぼたま」の基本的な業務内容と拠点となる場所を確保して、25年度はやれること(サロン食事会とおでかけサポート)から行ってきました。また、知っていただくことに重点を置いて、利用者向けパンフの配布と協力団体への説明を行ってきましたが、口頭での説明はなかなか難しく、今回、この助成金を利用して、その説明資料として上記の「あゆみ」を作りました。当初予定していました「ゆづり葉16年の実績データの分析」とは違ったものになりましたが、移動サービスだけでなくゆづり葉の活動を知っていただくよい機会になると思います。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

1. 「さぼたま」の利用者向けパンフレット・・・一部
2. 冊子「地域支援活動のあゆみ」・・・一冊
3. 活動の写真(4枚)

おでかけサロン・食事会



おでかけサロン・食事会





おでかけサポート事業



おでかけサポート事業

